

SHIMAJOB ~先輩職員と後輩職員の対談~

島田市役所で働く若手職員に仕事内容や職場の雰囲気等、先輩後輩の対談形式で本音で語ってもらいました。

今回は【行政経営部 課税課】の松野主事と山下書記に語ってもらいます！

自己紹介&課税課の業務内容



入庁8年目・松野さん

松野：私は入庁8年目で、長寿介護課で3年、課税課は5年目になります。課税課は市民税担当と資産税担当に分かれており、市民税担当は個人市民税や法人市民税、資産税担当は固定資産税や軽自動車税等の課税事務を行っています。私と山下さんは資産税担当で固定資産税の土地評価を担当しており、土地の利用状況を確認し、法令等に基づいて評価する仕事をしています。例えば、これまで農地だった土地を宅地に変更する許可が下りた場合、現地調査を行い、現況を確認して評価に反映する作業等を行っています。

山下：私は入庁2年目で、1年目のときの指導員が松野さんでした。1年目は松野さんとペアで業務を行い、仕事のやり方を教えていただきました。今も同じ係で松野さんの背中を追いながら仕事をしています。



入庁2年目・山下さん

課税課の仕事は大変ですか？

山下：納税者の方とお話しすることも多いのですが、説明にご納得いただけないこともあるので、そこはしっかり丁寧に対応することを心掛けています。

松野：市民の皆様の税金に直結することなので誤りがないよう慎重に取り組んでいます。評価に悩むことやこれまでの評価に誤りが見つかって税金をお返ししなければならなくなること等大変なこともあります。土地の評価をする中で市内の土地の動きを把握できることや現地調査で行ったことのない場



所に行くことができることは面白くもあります。

人間関係・職場の雰囲気

山下：入庁して最初に思ったのは、とてもアットホームな職場だなということです。同年代の方も多いので、困ったことがあっても臆せずに聞くことができました。

松野：日頃のコミュニケーションを大切にしているので、何でも相談できる良い環境だと思います。資産税担当は年明けから年度末にかけて繁忙期であり、納税通知書発送後の5月頃も市民の皆様からの問合せ対応で忙しくなりますが、6月以降は仕事のペースを調整しやすいと思います。

山下：私は基本的には定時で帰っています。一人暮らしなので帰宅後は自炊もしています。

松野：課税課は定時で帰宅する職員が多いですね。管理職も含め早く帰る職員が多いので、若い職員が帰りにくいという雰囲気はないです。

山下：私や1年目の職員が松野さんに「一緒に帰りましょう！」って声掛けてますもんね！

松野：そうですね（笑）後輩に促されて帰る事もあり、声を掛けてもらえるのは嬉しいです。

課税課・資産税担当のみなさん



島田市役所を志望した理由

山下：島田市役所には様々な部署があり、異動のたびに転職したような気分になれるという話を聞いて興味を持ちました。いろんな分野に挑戦できるというのはとても魅力を感じます。あと、自転車で通勤できる距離ということも重視していました。

松野：私は、父が自分には公務員が合っているのではないかと話していたということを知って、公務員への転職を考えました。採用説明会で染谷市長が「島田市の未来を創る仕事ですよ」と話しているのを聞いて、そういう仕事もいいなあと考えて受験しました。

山下：松野さんは島田市の未来を創っている実感はありますか？

松野：普段やっている仕事でそれを実感するのは難しいですけど、島田市を形作る構成要素の一つとして、きっとどこかで繋がっていると思います。

島田市を受験する皆さんへエールを！

山下：島田市役所にはいろんな世代の職員がいますが、上司・先輩・後輩との縦の繋がりと同期との横の繋がりで、世代や部署の垣根を越えて皆で協力しながら働くことができます。勉強は一生懸命取り組んで、面接はハキハキ話すことができれば大丈夫だと思いますので、気合と根性で頑張ってください！

松野：集団面接や個人面接など複数回面接があるので、準備も大変ですし、緊張もすると思いますが、飾らずに自分の思いを素直に伝えるのが大切かなと思います。当日はリラックスして臨んでください。応援しています！



島田市役所で一緒に働けるのを楽しみにしています！